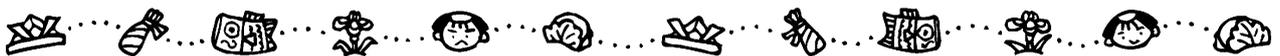




2021年5月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

朝の挨拶もできないくらいに緊張していた子どもも、時折思い出しては『ママがいい…』と泣いていた子どもも、『先生、おはよう!』と、可愛らしい笑顔でお部屋に入ってきてくれるようになりました。進級の喜びはまだ続いている、『うさぎ組は赤ちゃんだから…』とか『そう組になったから、なんでも自分でできる!』と、はりきって過ごさせています。

5月には、野菜の栽培を始めたり、なるべくお散歩に出かけたりと、自然を感じながら元気に過ごせるようにしていきたいと思います。



生活の様子

『自分でできることを増やそう!』と、色帽子をクルクル、靴をパンパンして片付けられるかな?と、投げかけてみました。入室の時には、『クルクル…』『パンパン!』と唱えながら取り組んでいます。そして、お茶も自分で入れたいと、意欲を持ち始めました。大量に溢して大騒ぎになることもありますが、失敗から学べるようにと、自分で拭けば大丈夫♡と励ましながら練習しています。

あそびの様子

そう組になると、一人ずつにお道具箱があります。その中にある粘土に夢中になっています。形を作るといよりも、まだ感触を楽しんでいる段階ですが、『自分の粘土』が嬉しいようです。

偶然にできた形を『ドーナツができた!?』と、見立てています。それを聞いたお友だちが、真似をして作り始めると『🍌いらっしゃいませ!』と、お店屋さんがオープンすることもあります。

